

一、筑波大学哲学・思想学会評議員の選出

○評議員の任期満了に伴い、新評議員（任期平成十三年四月一日、平成十五年三月三十一日）を選出した。（学会幹事を選挙管理委員とし、無記名連記、郵便投票により実施した。）会員の互選により選出された評議員は次の十七名（十五位が二名のため）である。

- 荒木美智雄、市川 裕、伊藤 益
- 河上正秀、木村勝彦、工藤喜作
- 桑原直己、笹澤 豊、佐藤貞悦
- 高橋 進、竹村牧男、棚次正和
- 野町 啓、藤田晋吾、堀池信夫
- 水野建雄、山中 弘

（五十音順、敬称略）

二、評議員会の開催

平成十二年四月八日（土）、第一回評議員会が筑波大学人文・社会学系棟二階小会議室において開催された。

○平成十二年度の活動方針が審議された。

○幹事に、上田 徹、中村正利、宮本要太郎の各氏、及び鈴木 覚が委嘱された。

○「哲学・思想論叢」の筑波大学電子図書館システムへの登録が議決された。

平成十二年十月二十八日（土）、第二回

評議員会が筑波大学人文・社会学系棟二階小会議室において開催された。

○評議員選挙の結果について審議し、一に記した新評議員が承認された。

○幹事に、魚谷雅広、清水洋貴、土井裕人の各氏が委嘱された。

三、第二十一回学術大会の開催

筑波大学哲学・思想学会第二十回大会は、平成十一年十月二十三日（土）、筑波大学人文・社会学系棟一階会議室を会場として開催され、以下の研究発表、シンポジウムおよび総会が行われた。

〔研究発表〕

1 想起過去説を検討する

— 野家「物語り論」三つの問題 —

鈴木 克成

2 人倫性の象徴としての美

— カントにおける美と道徳の関係 —

千葉 建

3 エマニュエル・レヴィナスにおける存在の意味

村上 太吾

4 「今・ここ」の救済とニューエイジ的ト

レンド

— ブラジル生長の家の受容にみる現代

ブラジルの宗教風上の変容 —

山田 政信

〔創立二十周年記念シンポジウム〕

信と知のゆくえ—世紀末をこえて—

提題者 棚次正和、桑原直己、名須川学

司会 伊藤 益

〔総会〕

○活動報告 鈴木覚幹事より、平成十一年度の活動報告がなされ、承認された。

○会計報告 鈴木覚幹事より、別表の通り平成十一年度会計報告（平成十一年四月一日、平成十二年三月三十一日）がなされ、承認された。

四、編集委員会の開催

「哲学・思想論叢」第十九号の第一回編集委員会が五月十七日（水）筑波大学人文・社会学系棟八階教育談話室において開催された。

○第十九号の編集方針・日程等が検討された。

第二回編集委員会が九月二十日(水)に第一回と同じ場所で開催された。

○第二十一回学術大会研究発表者の選考が行われた。

○投稿論文の審査について検討された。

第三回編集委員会が十月十一日(水)に前回と同じ場所で開催された。

○投稿論文が審査された。

### 五、会員異動

○新入会員 石黒博義、大石桂子

馬場智理、横田蔵人、平山健生

秋山 学

○退会会員 工藤綏夫、堀 一郎

副島正光、川那部保、渡辺 昌

別府淳夫(逝去)

(平成十二年十一月三十日 鈴木 寛記)

### 筑波大学哲学・思想学会平成11年度会計報告

平成11年4月1日～平成12年3月31日 会計担当幹事 鈴木 寛

取	入	支	出
前年度繰越金	1,429,215	機関誌作成費	630,525
利子	1,260	通信費	79,931
学会費	754,000	アルバイト代	45,000
抜刷代金(立替分)	15,750	大会開催費	14,993
		評議員会開催費	59,200
		学会封筒印刷費	42,000
		事務用品代	756
		次年度繰越金	1,327,820
計	2,200,225	計	2,200,225

## 『哲学・思想論叢』

### 第二十号原稿募集

原稿締切日

平成十三年九月五日(水)

・左記論文執筆規定をご参照の上、  
寄稿下さい。